

自転車 間藤エリア

“
おすすめ
周遊コース
”

・各スポットの所用時間は間藤駅を出発地点としたときの目安です。

⑧松木溪谷(所用時間 20分～30分)
煙害によってはげ山と化していましたが、長年の植樹活動によって徐々に緑が戻りつつあります。製錬所からの長い坂道がけっこうきついです。



⑦カラミ煉瓦防火壁(所用時間 10分～15分)
銅鉱石を製錬するときに出る不純物であるカラミを固めて作った防火壁です。当時は長屋が密集していたため、延焼を防ぐために作られました。



⑤製錬所(所用時間 10分～15分)
足尾に来たら絶対に見ておきたい場所です。古河橋の観光看板に付いているQRコードにアクセスすると、製錬所の全体像が確認できます。



④本山地区(所用時間 15分～25分)
現在は、石垣しか残っていませんが、当時の繁栄ぶりは「まちなか写真館」で確認できます。製錬所から本山への道は、急な坂道のため自転車を押して行く形になります。



③南橋社宅(所用時間 5分～10分)
昔の鉱山社宅の名残を感じる長屋です。年々、住む方が減少しており、取り壊しが進んでいます。くれぐれも、住民の迷惑にならないようお願いします。



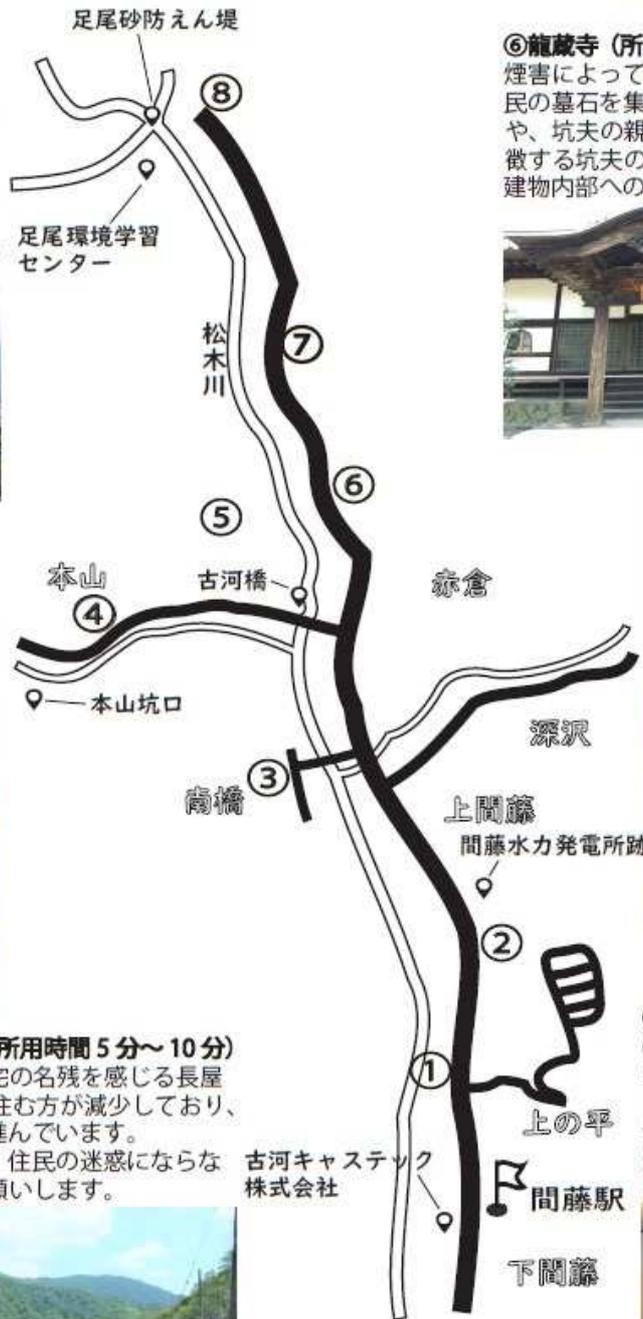
⑥龍蔵寺(所用時間 10分～15分)
煙害によって消滅した松木村の村民の墓石を集めて合祀した無縁塔や、坑夫の親分子分の関係性を象徴する坑夫の墓などがあります。建物内部への立入はご遠慮下さい。



②踏切跡(所用時間 1分～5分)
間藤駅から製錬所にあった足尾本山駅までを結ぶ線路です。昭和末期に廃線になりました。わたらせ渓谷鐵道では、定期的この区間を歩く廃線ツアーを行っています。普段は立入禁止です。



①金沢屋・自販機カフェ(所用時間 1分～5分)
軽食を販売する自販機が置いてあり、休憩には最適なカフェです。ぜひ立ち寄ってみてください。運がよければ、女将さんから足尾の昔話が聞けるかも。



古河キャストック株式会社

自転車通洞エリア

“
おすすめ
周遊コース
”

・各スポットの所用時間は足尾行政センターを出発地点としたときの目安です。

・掛水方面に向かう場合、斜線の道が人や車通りが少なくオススメです。

①選鉱所 (所用時間 1分～5分)
採掘された鉱石を選別するための施設。

中に入ることはできませんが、近くにある橋から建物を見ることができます。



②中才社宅 (所用時間 5分～10分)
現在でも多くの鉱山社宅が残っており、昔の風景を留めています。また、高い所にある家ほど、役職の高い人が住んでいました。住民の迷惑にならないようお願いします。



③中才浄水場 (所用時間 5分～10分)
坑道から排水された鉱毒水を処理して放水する施設。明治時代に作られ、現在も稼働中。道路上から見ることはできますが、施設内は立入禁止です。



④桑原商店 (所用時間 1分～5分)

今では珍しい地域の駄菓子屋。子どもから高齢者まで憩いの場となっています。不定休で8時～18時まで営業。



⑤かんもサロン (所用時間 1分～5分)

5月中旬～11月下旬の金土日、10時～15時まで営業。地域住民によって運営され、道案内や休憩などお気軽にお立ち寄りください。お土産品も販売中。



⑥宝増寺 (所用時間 5分～10分)

足尾の地名の由来となった勝道上人作の木像や、足尾銅山を飛躍的に発展させた第4代鉱長 木村長兵衛の墓などがあります。建物内部への立入はご遠慮下さい。



⑦足尾駅 (所用時間 5分～10分)

銅山操業時は足尾銅山のインフラを支えた重要な駅でした。駅の隣には、製錬所から濃硫酸を運んでいたタンク車が展示されています。



⑧古河掛水倶楽部・役宅 (所用時間 10分～15分)

国内外の要人を接待するための迎賓館である掛水倶楽部や、重役役宅があり、足尾銅山の隆盛を象徴する建物です。4月～11月の土日祝開館。

